

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年10月31日更新

事務事業名	地方創生拠点整備事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	6	産業の健康	所属部	総務部				
	施策	28	企業誘致の促進と働く場の確保	所属課	秘書政策課				
	施策の柱	75	雇用環境の充実支援と就業機会の確保	所属班	秘書政策班				
予算科目	会計一般	款2	項1	目25	事業連番11724	根拠法令	まち、ひと、しごと創生法 地域再生法	成果優先度評価結果	;
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 29年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 29年度から開始		事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 ~ 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		( ~ 年度)	

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	地方創生の推進に向けて拠点を整備するため、竹迫地区及び御代志地区において次の2事業を実施するものである。 1. 食と農の発信交流拠点整備(竹迫地区) 熊本地震で被災したヴィーブルレストランについて、スロープの設置や加工食品製造機能の付加等を行い、地域内外の人々が集う交流スペースとして、またコミュニティビジネスの拠点として整備する。 2. 文化を核とした観光交流拠点整備(御代志地区) マンガミュージアム、西合志図書館、天文台の3施設の円滑な動線を確保するため、エントランスや中庭を整備するとともに、マンガミュージアム内への貸オフィスの整備や地域事業者が利用できるチャレンジショップの設置など、エリア一体で賑わいを創出する新たな観光交流拠点を整備する。
【業務の流れ】	平成29年2月末に交付決定され、平成29年度に全額繰越して事業を進める。2事業とも委託事業として整備を実施する。公募型とする場合、①仕様の作成→②公募→③選考→④委託先決定・契約→⑤計画、設計、整備工事、関係者・関係機関協議→⑥完了確認・支払い という流れになる。
【主な予算費目】	委託料 68,000千円(1. 食と農の発信交流拠点整備:40,000千円、2. 文化を核とした観光交流拠点整備:28,000千円)
【意見や要望】	熊本地震で被災したヴィーブルについては早期復旧が求められており、関係者からはレストランにスロープがないため車椅子やベビーカー利用者などが不便との声が出されている。 また、マンガミュージアムの基本構想を検討するワークショップにおいて、隣接する図書館や天文台との連携を強化すべきとの意見が出された。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動)(DO)	拠点施設の整備及び同施設の供用開始	30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) なし
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由	
→ア:拠点活動(営業)日	日	
→イ:		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	竹迫地区及び御代志地区	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) →ア:地区数 →イ:地区
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	賑わいが創出される。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) →ア:レストラン売上高 →イ:マンガミュージアム入館料 千円 千円
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
賑わいの創出と地域経済の活性化の指標となるものであり、直接的な事業効果を測れると考え設定した。		68,000

(2)各指標・総事業費の推移		単位	28年度実績(決算)	29年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	29年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	ア 日			0	0	0				
	イ									
②対象指標	ア 地区			2	2	2				
	イ									
③成果指標	ア 千円			0	0	0				
	イ 千円			0	1,500	2,250				
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円			34,000	33,991			
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円			33,200	33,200			
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円			800	791				
	(A)事業費計	千円		0	68,000	67,982				
(A)のうち指定経費	千円		0	0	0					
(A)のうち時間外、特勤	千円		0	0	0					
人件費	正規職員従事人数	人		6	1	6				
	延べ業務時間	時間		1,128	410	795				
(B)人件費計	千円		0	1,633	3,145					
トータルコスト(A)+(B)	千円		0	69,633	71,127					

事務事業名	地方創生拠点整備事業	所属部	総務部	所属課	秘書政策課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 地域おこし協力隊等による積極的な情報発信やイベント等のソフト事業の実施、女性支援等の関連施策との連携などを図ることにより実現の可能性はある。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 地方創生に資する拠点を整備することによって新たな成果を求めるものであり、向上の余地はある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 地方創生の推進に向けて、官民連携及び政策間の連携を駆使して組み立てたものであり類似事業はないが、ウィーブルレストランの災害復旧及び機能強化と、マンガミュージアム周辺の環境整備として、整備後はそれぞれ女性創業や健康都市づくりなどと連携した事業を展開していく。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 地方創生拠点整備交付金事業費の範囲において、整備内容の精査により事業費内に抑える余地はある。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 協議や調整を要する関係者が多く、事業を進めるうえでの人員は増える可能性があり、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 整備対象施設は誰でも利用できる施設であり、入館料や使用料など受益者負担と収益性もあり、公平性は確保できている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 整備計画や地域再生計画など事務手続きや国の交付金活用、関係機関協議及び調整など整備に要する業務を行政が担う。整備後、レストランは民間団体が、マンガミュージアム関係についてはまちづくり会社が経営を担うことで適正な分担ができる。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

施設整備計画に沿った整備が完了した。今後、地域再生計画の目標達成に向けて当該施設を活用することが必要である。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>平成29年度をもって事務事業としては終了するが、地域再生計画の目標 (KPI等) 達成に向け、他の関連事業と連動して、整備対象施設の活用に引き続き取り組む必要がある。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						